

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公表番号】特表2007-519814(P2007-519814A)

【公表日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-027

【出願番号】特願2006-551604(P2006-551604)

【国際特許分類】

C 08 L	23/08	(2006.01)
B 65 D	75/36	(2006.01)
B 65 D	75/58	(2006.01)
B 65 D	65/40	(2006.01)
C 08 L	23/00	(2006.01)
B 32 B	27/28	(2006.01)

【F I】

C 08 L	23/08	
B 65 D	75/36	
B 65 D	75/58	
B 65 D	65/40	D
C 08 L	23/00	
B 32 B	27/28	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月28日(2008.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) (a) 約10～約90重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体

(b) 約5～約35重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 0～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン、および

(d) 0～約30重量%のフィラー

を含む組成物を選択する工程と、

(ii) 工程(i)の前記組成物をポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーと接触させる工程と、

(iii) 工程(ii)の前記組成物を工程(ii)の前記ポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーにヒートシールするために十分な熱および圧力を十分な時間かける工程と

を含む容易に剥離可能な開封特性を備えた気密ヒートシールの製造方法。

【請求項2】

(i) (a) 約10～約90重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体

(b) 約5～約35重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 0～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン、および

(d) 0～約30重量%のフィラー

を含む組成物を選択する工程と、

(i i) 箔、紙、ポリエステル、ポリアミド、ポリオレフィン、ポリエチレン・ビニルアルコール、ポリエチレン酢酸ビニル、エチレン／(メタ)アクリル酸共重合体およびそのアイオノマー、ポリ塩化ビニル、ポリ塩化ビニリデンならびに酸無水物変性ポリオレフィンよりなる群から選択された少なくとも1つの追加の材料を選択する工程と、

(i i i) 工程(i)の前記組成物を工程(ii)の前記材料とおよびポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーと接触させる工程と、

(i v) 工程(i)の前記組成物をシール層として使用して、工程(ii)の前記材料を工程(iii)の前記ポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーにヒートシールするために十分な熱および圧力を十分な時間かける工程と
を含む多層構造体の製造方法。

【請求項3】

(a) 約10～約90重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、

(b) 約5～約35重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 0～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン、および

(d) 0～約30重量%のフィラー

を含む組成物と

ポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーとを含むパッケージ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0119

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0119】

このように、ある程度の特殊性をもって本発明を説明し、例示してきたが、次の特許請求の範囲はそのように限定されるべきではなく、特許請求の範囲の各要素およびその同等物の表現に相応の範囲を与えられるべきであることは認識されるべきである。

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1. (i) (a) 約10～約90重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体

、

(b) 約5～約35重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 0～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン、および

(d) 0～約30重量%のフィラー

を含む組成物を選択する工程と、

(i i) 工程(i)の前記組成物をポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーと接触させる工程と、

(i i i) 工程(i)の前記組成物を工程(ii)の前記ポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーにヒートシールするために十分な熱および圧力を十分な時間かける工程と

を含む容易に剥離可能な開封特性を備えた気密ヒートシールの製造方法。

2. 前記組成物が

(a) 約30～約60重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、

(b) 約5～約25重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 約5～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン

を含む上記1に記載の方法。

3. 前記組成物が

(a) 約35～約60重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、

(b) 約5～約25重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 約25～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン

を含む上記2に記載の方法。

4. 前記組成物の成分(a)が2種以上の異なるエチレン／酢酸ビニル共重合体の混合物を含む上記1に記載の方法。

5. 前記組成物が成分(a)向けの3種のエチレン／酢酸ビニル共重合体および粘着付与剤の混合物を含む上記1に記載の方法。

6. 前記組成物がポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーへのヒートシールのための成分(a)向けの2種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、粘着付与剤およびポリオレフィンの混合物を含む上記1に記載の方法。

7. (i) (a) 約10～約90重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体

、
(b) 約5～約35重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 0～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン、および

(d) 0～約30重量%のフィラー

を含む組成物を選択する工程と、

(i i) 箔、紙、ポリエステル、ポリアミド、ポリオレフィン、ポリエチレン・ビニルアルコール、ポリエチレン酢酸ビニル、エチレン／(メタ)アクリル酸共重合体およびそのアイオノマー、ポリ塩化ビニル、ポリ塩化ビニリデンならびに酸無水物変性ポリオレフィンよりなる群から選択された少なくとも1つの追加の材料を選択する工程と、

(i i i) 工程(i)の前記組成物を工程(i i)の前記材料とおよびポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーと接触させる工程と、

(i v) 工程(i)の前記組成物をシール層として使用して、工程(i i)の前記材料を工程(i i i)の前記ポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーにヒートシールするために十分な熱および圧力を十分な時間かける工程と
を含む多層構造体の製造方法。

8. 前記組成物が

(a) 約30～約60重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、

(b) 約5～約25重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 約5～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン

を含む上記7に記載の方法。

9. 前記組成物が

(a) 約35～約60重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、

(b) 約5～約25重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 約25～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン

を含む上記8に記載の方法。

10. 前記組成物の成分(a)が2種以上の異なるエチレン／酢酸ビニル共重合体の混合物を含む上記7に記載の方法。

11. 前記組成物が成分(a)向けの3種のエチレン／酢酸ビニル共重合体および粘着付与剤の混合物を含む上記7に記載の方法。

12. 前記組成物がポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーへのヒートシールのための、成分(a)向けの2種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、粘着付与剤およびポリオレフィンの混合物を含む上記7に記載の方法。

13. (a) 約10～約90重量%の少なくとも1種のエチレン／酢酸ビニル共重合体、

(b) 約5～約35重量%の少なくとも1種の粘着付与樹脂、

(c) 0～約45重量%の少なくとも1種のポリオレフィン、および

(d) 0～約30重量%のフィラー

を含む組成物と

ポリクロロトリフルオロエチレンフルオロポリマーとを含むパッケージ。

14. ブリストーパッケージである上記13に記載のパッケージ。